

3 - 14 鎌倉における地下水位観測 (II)

Observation of Groundwater Levels at Kamakura (II)

東京大学理学部

Faculty of Science, The University of Tokyo

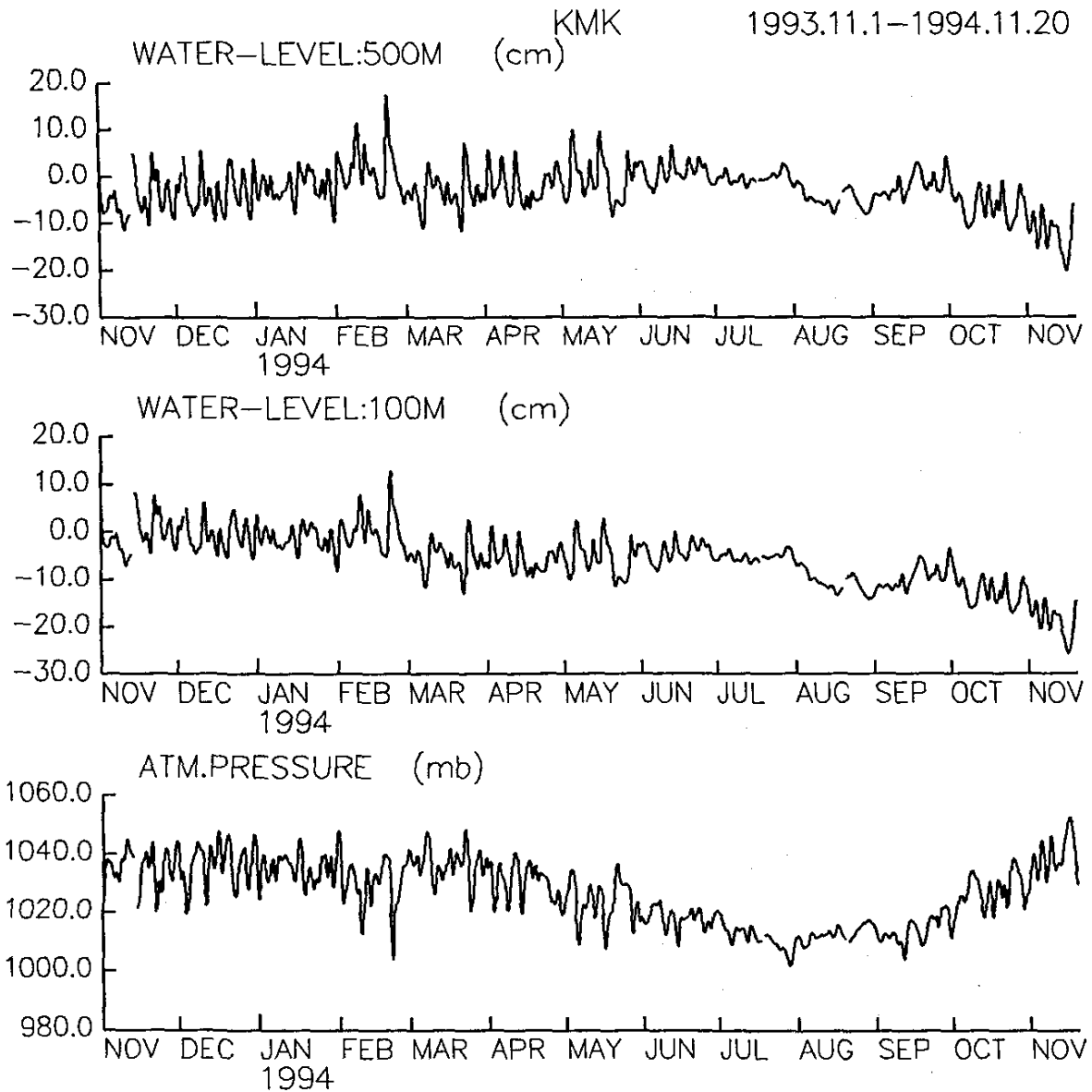
前報¹⁾にひきつづき、鎌倉における地下水位の連続観測結果(1993年11月~1994年11月)を報告する。

鎌倉市内KMK観測点において1985年4月より、深度500mと100mの2つの観測井において地下水位の連続観測を行っている。これまでに、1986年6月24日の房総半島南東沖地震(M6.5)と1987年12月17日の千葉県東方沖地震(M6.7)に対するコサイスミック変化、1992年2月2日の東京湾浦賀水道付近の地震(M5.9)の約1~1.5日前に異常変化が観測されており、1993年11月までのデータとともに報告済みである^{1), 2)}。第1図に、1993年11月~1994年11月のデータを大気圧の変化とともに示す。データは一時間値(毎分値の平均値)の25点移動平均である。

参 考 文 献

1) 東京大学理学部：鎌倉と伊東における地下水位観測，連絡会報，**49** (1993)，205-209．

2) 東京大学理学部：鎌倉における地下水位観測，連絡会報，**51** (1994)，291．



第1図 KMK（鎌倉）における地下水位変化と大気圧変化（1993年11月～1994年11月）

Fig. 1 Temporal variation in groundwater levels of 500m deep and 100m deep wells at KMK (Kamakura), together with atmospheric pressure at KMK (November 1993-November 1994). The data are 25-hour moving average values.